



円決済型外貨建債券売出しのご案内

# 世界銀行

2022年11月2日満期 円決済型インドルピー建債券(グリーンボンド)

売出期間 2017年10月3日(火) ▶ 10月27日(金)

期間  
約5年

利率  
年 **4.81** % (課税前・インドルピーベース)

(課税後・インドルピーベース 年3.832%)

課税後の利率は、20.315%の税金が差し引かれた利率であり、  
小数点以下第3位未満を切り捨てて表示しています。

## お申込みメモ

- ★発行者 … 世界銀行
- ★売出価格 … 額面金額の100.00%
- ★お申込単位 … 額面500,000インドルピー以上  
100,000インドルピー単位
- ★受渡日 … 2017年10月31日(火)
- ★本信用格付は、本邦において信用格付業者として登録していない格付業者が付与した格付です。  
詳しくは、「無登録格付に関する説明書」をご確認ください。
- ★利息・償還金のお支払いは原則、利払日・償還日の翌営業日以降となります。  
なお、インド共和国には毎年変動する祝日があり、利払日・償還日と重なった場合は、祝日後の利払い・償還となります。
- ★初回の利払日は、2018年5月2日です。
- ★本債券は、インドルピー建てで発行されますが、元利金はすべて円貨で決済されます。
- ★利払日 … (年2回) 毎年5月2日/11月2日
- ★償還日 … 2022年11月2日
- ★格付 … Aaa(Moody's). AAA(S&P)  
2017年9月21日現在

## 重要事項の説明

- 信用リスク 本債券の利息および償還金の支払いは発行者の義務となっています。発行者の財務状況の悪化等により発行者が本債券の利息または償還金を支払わず、または支払うことができない場合には、投資家は損失を被りまたは本債券の価格が投資元本を割り込むことがあります。
- 価格変動リスク 償還前の本債券の価格は、金利の変動、発行者の経営・財務状況の変化および発行者に関する外部評価の変化(例えば格付業者による格付の変更)等により変動しますので、償還前に売却する場合には投資元本を割り込むことがあります。
- 為替変動リスク 本債券はインドルピーをもって表示され、元利金の額もインドルピーで表示されますが、その支払いは支払い時の一定の相場に基づき換算された円によって行われます。そのため外国為替相場の変動により円での支払額がその影響を受けます。また、これにより、円換算した償還価額または売却価額が投資元本を割り込むことがあります。
- 流動性リスク 途中売却の際、換金が困難な場合や不利な価格となり損失を被ることがあります。
- カントリーリスク 通貨当事国の政治情勢等の影響を受け、損失を被ることがあります。

## 手数料等諸費用について

- 本債券のお取引は、おもに募集・売出し等や、当社が直接の相手方となる等の方法により行うため、購入対価のみをお支払いいただきます。
- 本債券の売買時の為替レートは、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定いたします。
- 本債券の利金及び償還金は、当初定められた取決めに従って計算された円貨金額によるものといたします。
- 個人のお客様の場合、特定公社債の利子については20.315%の税金が源泉徴収された後、申告不要または申告分離課税のいずれかを選択できます。譲渡損益および償還差損益は20.315%の申告分離課税の対象となり、上場株式等(特定公社債等を含む)の利子、配当等および譲渡損益等との損益通算が可能です。また、控除しきれない譲渡損失および償還差損は確定申告により翌年以降3年間の繰越控除の適用を受けることができます。将来、税制が変更された場合は取扱いが異なる可能性がありますので、ご注意ください。

ご購入に際しましては、「販売説明書」および「契約締結前交付書面」をよくお読みください。

販売説明書のご請求・お申し込みは…



商号等 浜銀TT証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1977号  
加入協会 日本証券業協会

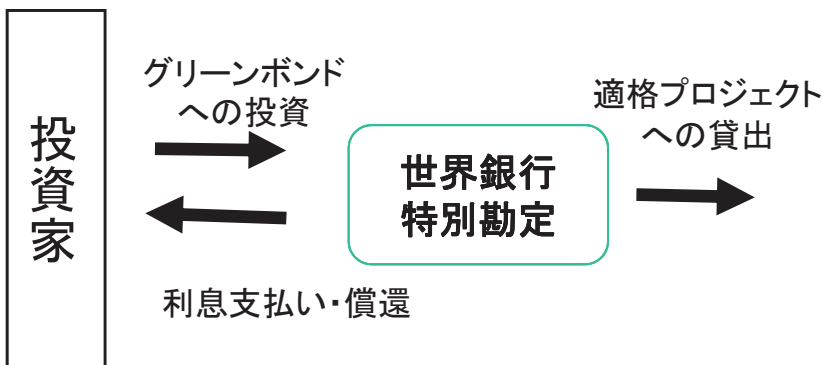
# 世界銀行 グリーンボンドとは

- ・グリーンボンドは、民間の資金を温暖化対策に活用できる金融商品であり、温暖化の防止と温暖化に適応させるためのプロジェクトを債券投資を通じて支援することに関心を持つ投資家のために開発されました。
- ・世界銀行は、加盟国である開発途上国の各ニーズに合った支援を続け、地球温暖化問題に取り組んでいます。
- ・2008年に初のグリーンボンドを起債して以来、世界銀行はこれまでに総額100億米ドル相当のグリーンボンドを130銘柄、18通貨で発行しています。
- ・グリーンボンドによる調達資金は、温室効果ガスの排出削減及び温暖化による影響に対処する世界銀行の開発プロジェクトへの貸出に活用されます。



©World Bank

## ●グリーンボンドの仕組み



### 加盟国で実施する グリーンプロジェクト



エネルギー効率化



風発電設備力



輸送効率の向上



廃棄物管理



森林再生



太陽光発電設備



新技術への資金供与



森林管理

©World Bank

## ●グリーンプロジェクト選定基準

世界銀行の環境専門家が選定します。

第三者機関である「オスロ大学国際気候環境研究センター」(CICERO)のチェックも実施しています。

世界銀行のグリーンプロジェクトは、世界銀行のその他のプロジェクトと同様に開発途上国の貧困削減と、人々の生活水準の向上を目指しています。グリーンプロジェクトは、中でも開発途上国に深刻な悪影響を及ぼしている地球温暖化問題に対処するプロジェクトです。



©World Bank

## ●グリーンボンドが支えるグリーンプロジェクト事例



世界銀行融資額: 1億2千万ドル(約130億円)

### 中国: 北京での太陽光発電普及プロジェクト (サンシャイン・スクール プロジェクト)

本プロジェクトは、中国の教育施設における太陽光発電を拡大するために再生可能エネルギー供給サービス会社を調査し、グリーン電力の消費を促進することを目的としています。通称「サンシャインスクール」は、約1,000の公立学校に100メガワットの太陽光発電設備を設置するプログラムで、公共部門においては最も大規模なものとなっています。



## 世界銀行(国際復興開発銀行)について

世界銀行(国際復興開発銀行、通称IBRD: International Bank for Reconstruction and Development)は、1944年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在189の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、IBRDは中所得国に対し、貸出・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界全体の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄を共有させることです。世界銀行は貸出資金を調達するために、60年以上にわたり国際資本市場で世銀債を発行しています。



# 無登録格付に関する説明書

浜銀 T T 証券株式会社

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等をお客様に告げなければならないこととされております。

## ○登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

	S&P グローバル・レーティング	ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク	フィッチ・レーティングス
○格付会社グループの呼称等について	・格付会社グループの呼称：S&P グローバル・レーティング ・グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第5号）	・格付会社グループの呼称：ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク ・グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：ムーディーズ・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第2号）	・格付会社グループの呼称：フィッチ・レーティングス（以下「フィッチ」と称します。） ・グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第7号）
○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について	S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ（ <a href="http://www.standardandpoors.co.jp">http://www.standardandpoors.co.jp</a> ）の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」（ <a href="http://www.standardandpoors.co.jp/unregistered">http://www.standardandpoors.co.jp/unregistered</a> ）に掲載されております。	ムーディーズ・インベスターズ・サービスのホームページ（ムーディーズ日本語ホームページ（ <a href="https://www.moodys.com/pages/default_ja.aspx">https://www.moodys.com/pages/default_ja.aspx</a> ）の「信用格付事業」をクリックした後に表示されるページ）にある「無登録業者の格付の利用」欄の「無登録格付説明関連」に掲載されております。	フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページ（ <a href="https://www.fitchratings.co.jp/web/">https://www.fitchratings.co.jp/web/</a> ）の「規制関連」セクションにある「格付方針等の概要」に掲載されております。
○信用格付の前提、意義及び限界について	S&P グローバル・レーティングの信用格付は、発行体または特定の債務の将来の信用力に関する現時点における意見であり、発行体または特定の債務が債務不履行に陥る確率を示した指標ではなく、信用力を保証するものでもありません。また、信用格付は、証券の購入、売却または保有を推奨するものでなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。 信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。 S&P グローバル・レーティングは、信頼しうると判断した情報源から提供された情報を利用して格付分析を行っており、格付意見に達することができるだけの十分な品質および量の情報が備わっていると考えられる場合にのみ信用格付を付与します。しかしながら、S&P グローバル・レーティングは、発行体やその他の第三者から提供された情報について、監査・デュー・デリジェンスまたは独自の検証を行っておらず、また、格付付与に利用した情報や、かかる情報の利用により得られた結果の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。さらに、信用格付によっては、利用可能なヒストリカルデータが限定的であることに起因する潜在的なリスクが存在する場合もあることに留意する必要があります。	ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（以下、「ムーディーズ」という。）の信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の将来の相対的信用リスクについての、現時点の意見です。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義していません。信用格付は、流動性リスク、市場リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。また、信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付若しくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証も行っておりません。 ムーディーズは、信用格付に関する信用評価を、発行体から取得した情報、公表情報を基礎として行っております。ムーディーズは、これらの情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、格付の過程で受領した情報の正確性及び有効性について常に独自の検証を行うことはできません。	フィッチの格付は、所定の格付基準・手法に基づく意見です。格付はそれ自身が事実を表すものではなく、正確又は不正確であると表現し得ません。信用格付は、信用リスク以外のリスクを直接の対象とはせず、格付対象証券の市場価格の妥当性又は市場流動性について意見を述べるものではありません。格付はリスクの相対的評価であるため、同一カテゴリーの格付が付与されたとしても、リスクの微妙な差異は必ずしも十分に反映されない場合もあります。信用格付はデフォルトする蓋然性の相対的序列に関する意見であり、特定のデフォルト確率を予測する指標ではありません。 フィッチは、格付の付与・維持において、発行体等信頼に足ると判断する情報源から入手する事実情報に依拠しており、所定の格付方法に則り、かかる情報に関する調査及び当該証券について又は当該法域において利用できる場合は独立した情報源による検証を、合理的な範囲で行いますが、格付に關して依拠する全情報又はその使用結果に対する正確性、完全性、適時性が保証されるものではありません。ある情報が虚偽又は不当表示を含むことが判明した場合、当該情報に關連した格付は適切でない場合があります。また、格付は、現時点の事実の検証にもかかわらず、格付付与又は据置時に予想されない将来の事象や状況に影響されることがあります。 信用格付の前提、意義及び限界の詳細にわたる説明については、フィッチの日本語ウェブサイト上の「格付及びその他の形態の意見に関する定義」をご参照ください。

この情報は、平成 29 年 4 月 1 日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記 S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社、ムーディーズ・ジャパン株式会社又はフィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。